

2026年3月

保護者 様

一宮市立大和東小学校長
加藤 雅世

学校評価「教育活動に関するアンケート」のまとめについて

早春の候 保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。先日は、ご多用の中、「教育活動に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

これまでの教育活動で効果があったものは継続して取り組み、改善すべきことは、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をいただき進めています。アンケート結果から、学校としての見解を下記のように報告させていただきます。

なお、アンケートの詳細につきましては、本校のウェブサイトに掲載させていただきます。今後とも、児童が楽しく安全に過ごせる学校、保護者や地域の皆様に信頼される学校をめざして、努力してまいります。学校と保護者がパートナーとなって子どもたちの自立を支援できるようご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

はじめに

アンケートは質問に対し、**A**「あてはまる」**B**「どちらかといえばあてはまる」**C**「どちらかといえばあてはまらない」**D**「あてはまらない」**E**「わからない」の5つの中から答えていただく形式で行いました。回答のうち、**A**と**B**を合わせて「肯定的な回答」として分析しています。また、文字数の関係で**A**「あてはまる」と表現したいところを**A**と記号だけで示します。

1 全体的な傾向として（「肯定的な回答」の設問数）

| | 設問数 | 80%超え | 90%超え | R6より割合UP |
|-----|-----|-------|-------|----------|
| 児童 | 20問 | 18問 | 17問 | 11問 |
| 教職員 | 20問 | 18問 | 16問 | 7問 |
| 保護者 | 26問 | 24問 | 12問 | 8問 |

2 教育活動に関する項目について

① 学習活動について

| 対象 | 質問内容 | R7 | R6 | R5 |
|-----|---------------------------|-----|-----|-----|
| 児童 | 授業の内容はわかる | 95% | 94% | 93% |
| 児童 | 授業は楽しい | 91% | 88% | 87% |
| 教職員 | 児童は、授業内容をわかっている | 97% | 97% | 96% |
| 保護者 | お子さんは、授業がわかりやすいと言っている | 92% | 91% | 94% |
| 教職員 | 現職教育で行ってきた授業研究は力量向上につながった | 97% | 93% | R6新 |
| 保護者 | 複数の先生での指導などの学力向上対策は適切である | 92% | 90% | 92% |

児童の「授業の内容はわかる」の問いに対して、「肯定的な回答」は95%、保護者の「お子さんは授業がわかりやすいと言っている」の問いに対して、回答の割合は昨年度より向上し「肯定的な回答」は92%でした。また、教職員も「肯定的な回答」の割合は高く、**A**の割合も10%から20%と昨年度より高くなりました。児童や保護者から「わかりやすい」と評価されていることを自信にして児童にとってわかる授業を継続して行っていきます。そのために教職員の現職教育を充実させ、力量向上をしていけるよう計画を進めていきたいと思っております。

② 行事等諸活動について

| 対象 | 質問内容 | R7 | R6 | R5 |
|-----|---------------------------------|------|------|------|
| 児童 | 学校生活は楽しい | 94% | 94% | 94% |
| 教職員 | 児童は、学校生活を楽しんでいる | 100% | 100% | 100% |
| 保護者 | お子さんは楽しく元気に学校へ通っている | 95% | 95% | 95% |
| 児童 | スポーツ大会などの学校行事は楽しい | 93% | 92% | 91% |
| 教職員 | 児童は、学校行事に楽しんで取り組んでいる | 100% | 100% | 100% |
| 保護者 | 教育活動が適切に進められている | 85% | 91% | 93% |
| 保護者 | 保護者の意見や願いを生かした教育活動の実践のために努力している | 80% | 86% | 87% |

児童は「学校生活は楽しい」の問いに対して、「肯定的な回答」の割合は高くなっています。教職員と保護者の回答も同様に高い割合を示しています。児童の「スポーツ大会などの学校行事は楽しい」の問いに対して、「肯定的な回答」は昨年度より増え93%でした。児童鑑賞会を行い、全校児童で「時間」と「思い」を共有することができています。そして、行事をつくり上げていくときの教職員の働きかけがこの結果につながっていると考えられます。

保護者の「教育活動が適切に進められている」と「保護者の意見や願いを生かした教育活動の実践のために努力している」の問いに対しては、「肯定的な回答」の割合が80%は超えているものの、減少している結果は真摯に受け止めています。

一宮市では2028年度までに1か月の時間外在校時間が45時間を超える教員を0%にすることが目標となっています。児童が主体的に取り組み、達成感を味わえる、本校の現状に合った教育活動を進めていく中で、この目標を達成させていきたいと思っております。今後ともご理解をさせていただきますようお願いいたします。

3 生活面に関する項目について

① ルールやマナーに関する項目について

| 対象 | 質問内容 | R7 | R6 | R5 |
|-----|---------------------------|-----|-----|-----|
| 児童 | 廊下歩行のきまりは守れている | 98% | 98% | 93% |
| 児童 | 交通ルールを守れている | 98% | 98% | 98% |
| 教職員 | 児童は、交通ルール・マナーを守っている | 95% | 95% | 95% |
| 保護者 | お子さんは社会生活のルールやマナーを身につけている | 95% | 92% | 90% |
| 児童 | あなたの通学班は自慢できる通学班である | 78% | 78% | R6新 |

ルールやマナーに関する児童・教職員・保護者の回答で「肯定的な回答」の割合は高いです。今年度校長から児童に合言葉として「あひる」を伝えています。「あひる」の「る：ルールを守ろう」を児童がしっかり守ろうとしている表れです。ただ、「あなたの通学班は自慢できる通学班である」の質問に対して、「肯定的な回答」の割合が昨年度と同じ78%にとどまっています。しかし、昨年度より高学年の子の「肯定的な回答」の割合は高くなっており、高学年の子の思いやりの心が育っていると考えられます。年度当初から、1年生の歩幅に合わせ、通学班でまとまって登下校する様子を見ることができています。高学年の子が安全で安心して登下校していけるよう工夫してくれているからです。

「登下校時の通学路における日常的な見守り活動等」については、文部科学省が「学校以外が担うべき業務」として明示しています。ご家庭でお子さんに対して、合言葉である「自慢できる通学班」を「安全に安心して登下校できる通学班」と考え、通学班で協力して登下校していけるよう、お話ししていただけるようお願いいたします。

② あいさつに関する項目について

| 対象 | 質問内容 | R7 | R6 | R5 |
|-----|-------------------|-----|-----|-----|
| 児童 | あいさつができています | 91% | 92% | 87% |
| 教職員 | 児童は、あいさつができています | 60% | 52% | 70% |
| 保護者 | お子さんは、あいさつができています | 85% | 85% | 81% |

児童の「あいさつができています」の問いに対して、「肯定的な回答」は91%でした。児童、保護者の割合は昨年度の割合と大きな変化はありません。教職員の回答は、児童や保護者に比べ低い割合ですが、昨年より増加しました。アンケートのコメントや朝の旗当番の方から、「あいさつができるようになりましたね」とお声掛けいただくことが増えています。児童自身が感じているあいさつができたという感覚と、周りの大人からもあいさつができたと認めることができる感覚が近づくことで、さらにあいさつのできる大和東小になっていくと考えますので、働きかけを続けていきたいと思えます。

③ 児童の心の育成にかかわる項目について

| 対象 | 質問内容 | R7 | R6 | R5 |
|-----|-----------------------------|------|------|------|
| 児童 | 先生は、みなさんの話を聞いてくれる | 95% | 96% | 97% |
| 児童 | 先生に相談があるときは、何でも相談できる | 87% | 87% | 86% |
| 教職員 | 児童は、心身の状態について気軽に先生に相談できている | 93% | 93% | 85% |
| 教職員 | 児童からの相談に適切に対応している | 100% | 100% | 89% |
| 教職員 | いじめのない学級づくりに取り組んでいる | 100% | 100% | 100% |
| 保護者 | 教員は、お子さんのことについて適切に相談に応じている | 90% | 91% | 88% |
| 保護者 | 教員は、お子さんのことを理解している | 86% | 91% | 90% |
| 保護者 | 教員は、児童の良い点や努力したことを公平に評価している | 86% | 90% | 88% |
| 保護者 | 教員は、いじめや問題行動について、適切に指導している | 77% | 82% | 77% |

児童から見る教職員への思いと、教職員の児童に対する思いの回答については昨年度と同様の高い割合の結果となっています。しかし、保護者の回答については、いずれの質問に対しても「肯定的な回答」の割合が減少しています。教職員は、結果を真摯に受け止めるとともに児童が成長していくための教育活動を継続していきます。

4 その他

○ 校外学習について

今年度、春の校外学習の行事なくし、その代わりに、ペア学年の行事を増やすという取り組みを実践しました。児童にとって、ペア活動の回数が増え、ペア学年との関わりを増やして活動ができるようになった反面、前年度中にこの方針をきちんとお伝えしていなかったため、数多くの疑問の声をいただきました。

そこで、来年度の校外学習については以下のように予定を立てましたのでお知らせさせていただきます。

- ・4月30日（木）に1年・2年・3年・4年とひまわり学級は校外学習を実施します。5年生は野外活動、6年生は修学旅行を実施するので、校外学習は行いません。

理由：例年行っている校外学習の時期に今年度は第20回アジア競技大会が愛知で行われるために、この時期にバスを借りることができないため

秋の時期の校外学習については、計画をせず、5・6年生も含めて年間1度の校外学習として計画いたします。学年によりますが、学校外の施設見学やそれに代わる体験学習を計画していきます。これにより、年間に必要な授業時数を確保していきます。